

2024/03/07 朝刊

## タブレット端末 初導入 県議会常任委

鹿児島県議会は6日の常任委員会で、タブレット端末を初導入した。デジタル化の推進とともに、環境に配慮して紙の使用量を減らすのが目的。2024年度から本会議でも活用し希望する議員には紙資料を配らないことも想定している。

委員会では、指を使って画面に映る資料を拡大する場面が見られた。議会事務局の職員に操作方法を聞く委員もいた。

タブレット端末の使用は、県議会のデジタル化検討委員会（郷原拓男委員長）が22年度か

ら検討し、23年11月、全51議員に配布した。月額のリース料は計約43万円。

郷原委員長は「一覽性に欠け

るなどデメリットもあるが、議員が慣れてメリットを生かせるようにしたい」と話した。

総務省によると23年1月現在、県内16市町村の議会がタブレット端末を導入または導入予定としている。（塩野雄梧）



タブレット端末で資料を見る県議会総務警察委員会の委員

＝6日、県議会庁舎